公益社団法人建設荷役車両安全技術協会長野県支部

〒380-0872
長野市妻科426-1
長野県建築士会館4F
TEL 026-232-2880
FAX 026-232-6606
http://www.sacl-nagano.jp

建荷協長野県支部通信

第4巻　第1号　　発行日　平成28年6月1日

1　第３４回総会開催される

5月24日、公益法人となってから5回目の長野県支部定時総会がホテル国際21で開催されました。遠藤支部長があいさつされ、議長として議事を進行されました。総会は委任状を含め会員150社のうち149社の出席をもって成立し、第1号議案「平成27年度事業報告並びに収支決算報告」、第2号議案「平成28年度事業計画（案）並びに収支予算（案）」について審議し、いずれも原案のとおり可決されました。

引き続き第3号議案「役員改選」案件の審議に入り、理事役員全員の留任が承認されました。直ちに別室で臨時理事会が開催され、新三役が選任されました。再開した総会で、新三役が遠藤議長から報告され、支部長に飯田ヂーゼル株式会社の**小林興宣**様、副支部長にトヨタL&F長野株式会社の**塚田富雄**様、同じく副支部長に日立建機日本株式会社長野支店の**小林政孝**様となりました。遠藤議長はこの議事をもって降壇し、支部長を退任されました。

小林興宣新支部長が就任のあいさつを行い、支部運営についての抱負を述べられました。

就任のあいさつ後、小林興宣新支部長から、建設荷役車両安全の普及促進に尽力し、当協会の事業推進に寄与された次の方々に対し、本部会長及び当支部長からの表彰が授与されました。（敬称略）

功績賞　清水昭彦（（株）前田製作所）

技能賞　雫田孝行（柳川自動車整備工場(有)

技能賞　平賀　徹（(株)上田技研）

技能賞　木下豊秀（トヨタL&F(株)飯田営業所）

技能賞　中村智好（(株)竹内製作所）

考案賞　金賞　大平範雄（飯田ヂーゼル(株)）

考案賞　銀賞　市川一美（日立建機日本(株)長野支店松本営業所）

他に考案賞入賞にはならなかったものの、4名に対して参加賞が授与されました。

また、長年特自検事業に携わり建設荷役車両の安全確保に貢献されたことにより**長野県支部長表彰**が

百瀬寿昭（軌陸車テック(株)）

永井　津（(株)ミツトモ）

に、

長年研修講師として支部発展に貢献されたことにより**長野県支部長感謝状**が

松本捷幸　　小室　英　　伊藤優司

の各氏にに授与されました。

総会にはご来賓として、長野労働局健康安全課長の青木様、長野労働基準監督署副署長の古畑様、建荷協本部の内田総務部次長のご臨席を賜り、ご祝辞をいただきました。

総会は成功裡に終了し、新年度の事業がスタートしました。

就任のあいさつをされる小林興宣新支部長

目次：

第３４回総会開催される	1
平成２８年度第１回研修委員会開催される	2
第８９回全国安全週間です	3
事務局だより	4

ハイライト：

- **6月は全国安全週間の準備月間**です。危険個所を洗い出し、安全管理の見直しを行いましょう。
- **「危険の見える化（リスクアセスメント）セミナー」**（7月28日、長野地域職業訓練センター）の**受講申し込み**を受け付けています。5S、KY、リスクアセスメントの三段階ステップアップとなっています。積極的に参加を。

熱中症のリスクが高い季節になりました。屋内外を問わず**熱中症**を発症して死亡するケースも多発しています。
こまめに水分・塩分を補給し、体調がすぐれないと感じたときは、すぐに涼しい場所で休憩をとるようにしましょう。
通気性の良い衣服を着用したり、保冷剤や冷たいタオルを使うなどして、からだの蓄熱を避けることも大切です。

危険な状態でも
安全と思い込ん
でしまうことがある

Q&Aコーナー

Q:アームにブレーカ機能が内蔵されて一体化した油圧ショベルがある。ブレーカは他の母機に取り付けることはできず、名盤もない。このブレーカは、母機の部品の一部として見るか、独立した解体用機械のアタッチメントとするか、取り扱い如何？

A:本機は、バケット使用時は掘削用機械であり、ブレーカ使用時は解体用機械となります。
したがって、特定自主検査は、まず油圧ショベルの特自検（油圧ショベルの記録用紙を使用）を行った後、ブレーカ部分の点検と総合テスト（ブレーカの記録用紙を使用）を行うことになります。
ブレーカの特定をどうするかという問題がありますが、アタッチメントとして他の母機に取り付けることはできないため、特定されていると解してよく、記録表の型式と製造番号には母機のものを使用し、例えば（一体型）等簡単な注釈を付けておくことで足ります。（本部確認済み）

2　平成２８年度第１回研修委員会開催される

5月27日、平成28年度第1回研修委員会がホテル国際21で開催されました。

本年度の研修予定は前号で配布され、支部ホームページにも掲載してありますのでご参照ください。当委員会では、各研修の担当講師の分担等を決定しました。これにより本年度の各種研修を行ってまいります。（各研修の情報は随時お知らせしますが、当支部HPから申込用紙等ダウンロードできますのでご利用ください。）

長年ご苦労いただいた、70歳を超える講師については、委嘱が本年度限りとなるため、新規講師の推薦・委嘱を引き続き各社にお願いしていくこととしました。

また、昨年度の巡回指導結果の報告と今年度の巡回指導方針について審議しました。地域協議会は長野県支部の自主的な活動であり、巡回指導員の行う巡回指導とは明確に区別すること。地域協議会では自主的に特自検パトロールを実施すること。この活動は、本部の巡回指導と連携すること。パトロール参加者には支部において障害総合保険に加入すること等を確認し、本年度の運営に当たることとなりました。（※長野県支部では、研修講師は巡回指導員となります。）

3　第８９回全国安全週間です

全国安全週間が、**7月1日から7日までの1週間**実施されます。この本週間の実効を上げるため、**6月1日から30日を準備月間**とします。**職場の安全活動の節目**として年間計画の中で位置づけ、できるだけ効果の上がるように取り組みましょう。

長野県での「はさまれ・巻き込まれ」災害は、「転倒」、「墜落・転落」に次いで多く、死亡災害や身体に重大な障害を残す災害が多発しています。このため、長野労働局では「**STOP! はさまれ・巻き込まれ災害**」のスローガンの下、キャンペーンを張っております。（当支部HP参照）**フォークリフトや建設機械**での「はさまれ・巻き込まれ」は、直ちに死亡等重大災害と結びつきます。「はさまれ・巻き込まれ」の危険の洗い出しを行い、その「**見える化**」を図り、不幸な災害の**未然防止**に努めましょう。

平成28年度の安全週間のスローガンは「**見えますか？　あなたのまわりの見えない危険　みんなで見つける安全管理**」です。取り巻く危険を洗い出し、危険感度を高めましょう。

4　事務局だより

「安全」と「安心」ということについて、もう少し考えてみる必要がありそうだ。
「安全」の反対語は「危険」であり、それぞれ「安全性」、「危険性」など客観的な意味で使われる。それに対して、「安心」の反対語は「不安」であり、「安心感」や「不安感」など主観的な意味合いで使われる。
安全と危険及び安心と不安を、それぞれ縦軸と横軸にとり、組み合わせを考えると、①安全であり、安心だと思う②安全であるが、不安と感じる③危険であるが、安心と考える④危険であり、不安を感じる、の4パターンとなる。
①の状態が望ましいが、実際には②安全が確保されていても不安に感じたり、反対に③危険な状態でも安全と思い込んでしまうこともある。
例えば、自動車より飛行機の方が統計的には安全だが、飛行機に乗るのを不安に思う人の方が多い。あるいは、東日本大震災で防潮堤の存在に安心して逃げずに多数の人が亡くなった如くである。
（次号に続く）